



## 2. 指標設定

成果指標	指標名	公衆衛生の維持	目標年度	指標の設定理由			
	数値	—		—	快適な生活空間に必要な環境を整える		
活動指標	指標	a	補助実施数	b	狂犬病注射頭数	c	d
	数値	目標	—	目標	—	目標	目標

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H25	H26	H27
公衆衛生の維持		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H25	H26	H27
a 補助実施数	件	9 件	3 件	6 件
b 狂犬病注射頭数	頭	2,177 頭	2,047 頭	1,984 頭
c		—	—	—
d				

## 4. 課題と対応

課題
市民の要望や法令に基づく対応であるため、精査しながら処理する。
対応（改善点等）
法令に基づいた適切な処理を行うことや、補助金交付基準に沿った交付認定を行う。

## 5. 事業費・・・H25～H27（決算額）、H28（予算現額）

決算額（千円）	H25	H26	H27	H28
	うち経常経費	787,355	9,253	9,369
国 県 費	5,377	6,825	5,829	12,810
財源内訳	90	90	90	90
市 債				
その他	774,835	1,640	1,587	1,665
一般財源	12,430	7,523	7,692	15,726
うち経常	3,552	5,095	4,152	11,054

## 6. H29年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
悪臭調査の費用が必要となるため。

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 事業の必要性は高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により市が実施主体であることが定められている。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目標達成のために適切な手段である。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3 期待したとおりの成果が上がっている。

## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	公衆衛生の維持に努め、適正かつ効果的な事業実施を行うこと。



## 2. 指標設定

成果指標	指標名	火葬業務の実施	目標年度	指標の設定理由			
	数値	—		—	火葬業務を滞りなく行う必要があるため		
活動指標	指標	a	火葬業務数	b	c	d	
	数値	目標	—	目標	目標	目標	

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H25	H26	H27
火葬業務の実施		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H25	H26	H27
a 火葬業務数	件	788 件	872 件	820 件
b		—	—	
c				
d				

## 4. 課題と対応

課題
ランニングコストの削減に向けて努力する必要がある。
対応（改善点等）
今後の実績を見ながら検討する。

## 5. 事業費・・・H25～H27（決算額）、H28（予算現額）

決算額（千円）		H25	H26	H27	H28
		113,798	911,294	35,782	40,331
うち経常経費		23,592	24,852	35,782	40,331
財源内訳	国 県 費				
	市 債	74,400	826,200		
	そ の 他	13,068	15,428	26,180	14,485
	一般財源	26,330	69,666	9,602	25,846
うち経常		11,611	10,599	9,602	25,846

## 6. H29年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
適正な維持管理に努める

## 7. 担当課による分析

	着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	事業の必要性は高い
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	法令等により市が実施主体であることが定められている
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	目的達成のために適切な手段である
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3	期待したとおりの成果が上がっている

## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	適切な管理運営に努めること。

予算	款	項	目	決算書	
	4	2	1	196	頁

目名
清掃総務費

事業名称
清掃総務事業

1. 概要

目的	一般廃棄物の適正処理の推進	対象	市民
事業概要	○一般廃棄物適正処理事業；小動物の死体処理数(39件)		

臨/経	細事業名称	事業内容（主な経費等）		前年度決算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
							国・県支出金	市債	手数料	一般	
経常	一般廃棄物適正処理事業	処理件数(39件)	需用費	47	84	5			5		3
計				47	84	5			5		

## 2. 指標設定

成果指標	指標名	一般廃棄物適正処理	目標年度	—	指標の設定理由				
	数値	—			適切な住環境を保全するため				
活動指標	指標	a	回収回数	b		c		d	
	数値	目標	随時	目標		目標		目標	

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H25	H26	H27
一般廃棄物適正処理		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H25	H26	H27
a 回収回数	回	43 回	41 回	39 回
b		—	—	—
c				
d				

## 4. 課題と対応

課題
犬猫の死骸から野生動物の死骸まで多様化してきている。
対応（改善点等）
市民からの通報などにより、迅速な処置対応が必要である。

## 5. 事業費・・・H25～H27（決算額）、H28（予算現額）

決算額（千円）		H25	H26	H27	H28
うち経常経費		58	47	5	206
財源内訳	国 県 費				
	市 債				
	そ の 他	20	8	5	6
	一般財源	38	39		200
	うち経常	38	39		200

## 6. H29年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
適正処理を遂行するため。

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認 3	事業の必要性が高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査 3	法令等により市が実施主体であることが定められている。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析 3	目的達成のために適切な手段である。
④ 事業の有効性	成果指標の判断 3	期待したとおりの成果が上がっている。

## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	適正処理に努めること。



## 2. 指標設定

成果指標	指標名	循環型社会の形成	目標年度	—	指標の設定理由			
	数値	—			里山・田園・水辺を守り育て、ごみを削減するため			
活動指標	指標	a	看板設置数	b	補助実施数	c		d
	数値	目標	随時	目標	90件	目標		目標

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H25	H26	H27
循環型社会の形成		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H25	H26	H27
a 看板設置数	件	55 件	48 件	24 件
		—	—	—
b 補助実施数	件	69 件	91 件	80 件
		65.7 %	101.1 %	100.0 %
c				
d				

## 4. 課題と対応

課題
ごみの不法投棄が多く発生している。また、家庭ごみの減量化等を図る必要がある。
対応（改善点等）
ごみの不法投棄防止の啓発活動として、撤去事業、広報など活動を実施する。また、家庭ごみの減量化を図る。

## 5. 事業費・・・H25～H27（決算額）、H28（予算現額）

決算額（千円）		H25	H26	H27	H28
		1,080	1,094	715	854
うち経常経費		933	975	715	854
財源内訳	国 県 費	73	59	67	78
	市 債				
	そ の 他	160	227	200	200
	一般財源	847	808	448	576
	うち経常	773	748	380	455

## 6. H29年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
適正処理を推進するため。

## 7. 担当課による分析

	着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	事業の必要性が高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	法令等により、市が実施主体であることが定められている。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	目的達成のために適切な手段である。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3	期待したとおりの成果が上がっている。

## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	環境保全に資するための啓発活動に努めること。



## 2. 指標設定

成果指標	指標名	ごみ処理の適正化、ごみの減量化	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	186kg/人・年			総合計画／後期基本計画において、基本施策(2-2-1)の目標としているため			
活動指標	指標	a 維持管理の適正化	b	ごみ分別の推進	c		d	
	数値	目標 経常経費の削減	目標	市民の意識啓発を図る	目標		目標	

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H25	H26	H27
ごみ処理の適正化、ごみの減量化	kg	209.4 kg	198.0 kg	198.9 kg
		88.8 %	93.9 %	93.5 %

活動指標名	単位	H25	H26	H27
a 維持管理の適正化	千円	308,672 千円	373,650 千円	434,704 千円
b ごみ分別の推進	回	15 回	17 回	17 回
c				
d				

## 4. 課題と対応

課題
人口は減少しているものごみの排出量は横ばいである。可燃ごみ中に含まれる紙類の割合が約40%であることから分別を強化し、ごみの焼却量を削減する必要がある。
対応（改善点等）
スマートフォンの普及に伴い、ごみ分別アプリを配信して、ごみの分別強化を促進する。また、リユースを推進してごみの減量化を図るため、フリーマーケットやリユース事業者と連携した体制を構築する。

## 5. 事業費・・・H25～H27（決算額）、H28（予算現額）

決算額（千円）		H25	H26	H27	H28
		308,672	373,650	434,704	371,105
うち経常経費		306,447	320,357	302,263	367,722
財源内訳	国 県 費				
	市 債				
	そ の 他	147,876	159,332	170,184	142,711
	一般財源	160,796	214,318	264,520	228,394
うち経常		158,717	170,339	154,560	225,347

## 6. H29年度予算の方向性

方向性
<b>減額</b>
理由
基幹的設備改良事業効果及びCO2排出量の削減効果として、高圧電気料の削減及び化石燃料使用量の削減が見込めるとともに、維持補修費の削減ができる。

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 生活環境の保全上、事業の必要性が高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 民間の技術的能力を活用することが可能であるが、移行体制が整備されていない。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3 安定的かつ適正な一般廃棄物処理が遂行され、期待したとおりの成果があがっている。

## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
縮小	適切な処理とゴミの減量化の啓発に努め、経費節減を図ること。また、将来的な運用について検討すること。



## 2. 指標設定

成果指標	指標名	適正な処理	目標年度	指標の設定理由			
	数値	—		H27	施設の性能を維持し、経費削減等を考えれば機器の変更が重要である		
活動指標	指標	a 施設維持管理の適正化	b	施設の基幹改良	c	外部委託の検討	d
	数値	目標 経費の削減(A重油)	目標	処理方式及び機器設備の改良・変更	目標	機器整備の委託検討	目標

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H25	H26	H27
適正な処理		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H25	H26	H27
a 施設維持管理の適正化	リットル	182,000	196,000	182,000
b 施設の基幹改良		—	—	—
c 外部委託の検討		—	—	—
d				

## 4. 課題と対応

課題
膜分離装置6基の交換頻度が高く、交換時のコストが高い。乾燥・焼却設備の燃料代軽減及び間もなく大規模改修時期を迎える。
対応（改善点等）
膜分離装置を回転平膜からチューブラ膜へ変更することにより、維持管理費を削減することが可能となり、さらに高効率脱水装置の導入により、化石燃料の大幅な削減に寄与できる。

## 5. 事業費・・・H25～H27（決算額）、H28（予算現額）

決算額（千円）		H25	H26	H27	H28
うち経常経費		140,149	142,190	136,392	162,347
財源内訳	国 県 費				
	市 債				
	そ の 他	24,657	25,301	21,205	96,464
	一般財源	115,492	116,889	115,187	65,883
	うち経常	115,492	116,889	65,915	65,883

## 6. H29年度予算の方向性

方向性
増額
理由
適正な処理事業の推進、寿命が延び交換が容易な膜への変更

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 一般廃棄物の適正な処理を行う施設であるため必要
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により、市が実施主体であることが定められている。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 民間委託導入などの検討(包括的民間委託)
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3 成果は上がっている

## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
見直し	施設の性能を維持することに必要な整備を行い、長寿命化を図ること。



## 2. 指標設定

成果指標	指標名	基幹的設備改良		目標年度	指標の設定理由				
	数値	工事の進捗率			H27	総合計画／後期基本計画／実施計画書／施策目標(2-2-1)としているため			
活動指標	指標	a	低下した性能の回復	b	ダイオキシン類削減対策	c	基幹改良CO2削減率	d	工程会議の回数
	数値	目標	50t/日(25t/16h×2炉)	目標	排ガス中のDXN 1ng-TEQm <sup>3</sup> N以下	目標	5%以上	目標	月2回

## 3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H25	H26	H27
基幹的設備改良		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H25	H26	H27
a 低下した性能の回復		—	—	—
b ダイオキシン類削減対策		—	—	—
c 基幹改良CO2削減率		—	—	—
d 工程会議の回数		—	—	—

## 4. 課題と対応

課題
平成39年度までにごみ処理の広域化を目指す必要がある。
対応(改善点等)
第4次大分県廃棄物処理計画(平成28年3月策定)の大分ブロックでごみ処理広域化について具体的な協議を進める。

## 5. 事業費・・・H25～H27(決算額)、H28(予算現額)

決算額(千円)		H25	H26	H27	H28
うち経常経費		4,589	670,613	1,028,517	
財源内訳	国 県 費	980	221,083	235,757	
	市 債		426,400	753,100	
	そ の 他	1,438	2,571	4,575	
	一般財源	2,171	20,559	35,085	
	うち経常				

## 6. H29年度予算の方向性

方向性
予算措置なし
理由
事業終了によるもの。

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 基幹的設備の延命化を図る上で必要不可欠な事業である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 生活環境の保全を確保することは行政の責務である。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 ごみ処理の広域化を目指す上で適切な手段である。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3 性能水準の回復及びCO2削減成果が得られた。

## 8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
—	—

予算	款	項	目	決算書	
	—	—	—	528	頁

目名
—

事業名称
太陽光発電事業特別会計事業

1. 概要

目的	再生可能エネルギー、新エネルギーを推進する	対象	市民
事業概要	○豊後大野市太陽光発電所5ヶ所の維持管理業務 ・インターネット回線使用によるシステム監視 ・火災保険加入 ・機械警備委託 ・草刈等委託 ・電気設備保安業務委託		

臨/経	細事業名称	事業内容（主な経費等）	前年度決算額 (千円)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	太陽光発電事業	警備、草刈、保安管理 委託料	186,395	118,840	102,250				102,250	3
計			186,395	118,840	102,250				102,250	

## 2. 指標設定

成果指標	指標名	再生可能エネルギーの推進	目標年度	—	指標の設定理由				
	数値	—			環境負荷の少ないライフスタイルや事業活動を進めるため				
活動指標	指標	a	維持管理回数	b		c		d	
	数値	目標	経常	目標		目標		目標	

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H25	H26	H27
再生可能エネルギーの推進		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H25	H26	H27
a 維持管理回数	回	—	30回	38回
b		—	—	—
c				
d				

## 4. 課題と対応

課題
機械設備であるため、十分な維持管理が必要。
対応（改善点等）
状況に応じた適切な維持管理を行う。

## 5. 事業費・・・H25～H27（決算額）、H28（予算現額）

決算額（千円）		H25	H26	H27	H28
うち経常経費		688,461	186,395	102,250	100,004
財源内訳	国 県 費				
	市 債				
	そ の 他		186,395		
	一般財源	688,461		102,250	100,004
うち経常				102,250	100,004

## 6. H29年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
適切な維持管理を行うため。

## 7. 担当課による分析

	着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	事業の必要性が高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	市が実施主体となっている。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	目的達成のために必要な手段である。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3	期待したとおりの成果が上がっている。

## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	適切な管理運営に努めること。